



伊達市発達支援室通信  
平成28年3月16日発行  
No.10 文責 荇澤佳奈



1月行く、2月逃げる、3月去ると言いますが、気づけばもう今年度も残りわずかです。こどもたちとの会話のなかでも、「4月になったら〇〇組さん」「〇〇小学校に行くんだよ」という話をよく聞くようになり、今から来年度が楽しみな様子がうかがえます。

今年度の「こどももだより」は、これが最終号になります。発達支援室にご理解とご協力をいただきまして、ありがとうございました。



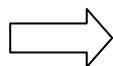
### 『甘えさせることをためらわないでください』

生活のすべてを依存していた赤ちゃんも、成長とともに何でも親にしてもらうことに不自由感を抱き、自分で自由に行動してみたいという欲求を持つようになっていきます。これが、自立への第一歩です。親から自立した子どもは自由を満喫しているのですが、ふと寂しさや不安を感じ、再びお母さんの元へ戻ってきます。このとき上手に甘えさせてあげることが、さまざまな能力を伸ばし、さらなる自立へと子どもを導くのです。

では、甘えさせる時期はいつまでかと尋ねられますと、幼いころ十分に甘えさせてもらった子どもは自然と親から離れていくときがきます。スキンシップを伴う甘えは思春期に入る前くらいが目安だと敢えてお答えしていますが、お子さんがひとりの大人として自立するまでは、いつでも抱きしめてあげるよ、という気持ちを態度で示してあげてください。



甘えさせることで  
伸びる能力とは？



行動力	自信	折れない心
自立心	思いやりの心	

PHP のびのび子育て2月号～「甘え」がはぐくむ5つの能力～ 田宮由美著 より抜粋

もうすぐ4月。子どもたちは、今から1つ学年が上がることにわくわくしたり、不安を感じたりしているかもしれません。「もう小学生なのに」「もう年長さんなのに」と、『もう〇〇なのに』と思わずに、ギュッと抱きしめたり、膝に乗せて話をしたり、十分に甘えさせて、心の栄養を補給してあげましょう。



## お知らせ

平成28年度より、こども支援課内の機構改革により、事業内容が一部変更になります。詳細につきましては、4月以降にご連絡いたします。